

# 衆議院外務委員会ニュース

【第208回国会】令和4年3月11日（金）、第4回の委員会が開かれました。

1 東日本大震災11周年に当たり、亡くなられた方々に対し、黙禱をささげました。

2 日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定第二十四条についての新たな特別の措置に関する日本国とアメリカ合衆国との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第1号）

- ・ 林外務大臣、鬼木防衛副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・ 穀田恵二君（共産）が討論を行いました。
- ・ 採決を行った結果、賛成多数をもって承認すべきものと決しました。  
（賛成—自民、立民、維新、公明、国民 反対—共産）  
（質疑者）鈴木敦君（国民）、小熊慎司君（立民）、穀田恵二君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

## 鈴木敦君（国民）

（1） ウクライナ情勢

ア ロシアによるウクライナ侵略の外交上の原因について外務省の分析

イ ブダペスト覚書が機能せずロシア（核保有国）がウクライナ（非核保有国）を攻撃したことに対する林外務大臣の見解

ウ 地政学上あるいは在日米軍駐留を踏まえ我が国の防衛外交について林外務大臣の認識

エ 抑止力の効果について林外務大臣の見解

オ 台湾有事における我が国の対応

カ 我が国としての対ロ制裁措置を取る必要性

キ 長期的なエネルギー外交政策の必要性

ク サハリン1の中断による我が国のイメージ低下と対ロ制裁措置についての林外務大臣の見解

ケ ウクライナにヘルメットや防弾チョッキを提供することに対するロシアの反応及びこれによるエネルギー政策への影響について防衛省の認識

コ 自衛隊と在日米軍による我が国を防衛するための共同演習（訓練）の実施例

（2） 在日米軍駐留経費負担に係る特別協定

ア 我が国が「必要と認める」経費を定義する必要性

イ 新たに設けられた訓練資機材調達費で調達予定の「戦闘射撃訓練用標的装置」を自衛隊にこそ配備する必要性

## 小熊慎司君（立民）

（1） 核抑止論あるいは「核の傘」の概念について林外務大臣の認識

（2） 原子力発電所に対する武力攻撃への対応を検討する必要性

（3） 核兵器禁止条約及び「学校保護宣言」といったアドボガシー（態度表明）について政府の取組対応

（4） 韓国による日本産食品の輸入規制の撤廃に向けた政府の取組

## 穀田恵二君（共産）

在日米軍駐留経費負担に係る特別協定

ア アラスカへの訓練移転による在沖米軍基地周辺の負担軽減

- a 新たにアラスカを訓練移転先とする理由及びこれによる沖縄の負担軽減
- b 訓練移転期間中でも米軍機の騒音激化について林外務大臣の受止め
- c 嘉手納町への外来機の飛来を規制し林外務大臣が嘉手納基地周辺の視察を行う必要性
- イ アラスカへの訓練移転と敵基地攻撃能力の保有との関係性
  - a アラスカで実施予定の訓練の具体的内容
  - b 2021年3月の日米「2+2」で確認された日米同盟の抑止力・対応力を高めるための演習及び訓練の具体的内容
  - c 2021年3月の日米「2+2」開催以降に航空自衛隊と米空軍B52戦略爆撃機との共同訓練の回数
  - d 航空自衛隊が米空軍B52戦略爆撃機と行う共同訓練の本協定との該当性
  - e レッドフラッグ・アラスカ（米空軍が実施する大規模演習）で航空自衛隊が行う訓練の内容
  - f 在日米軍司令部文書（2017年6月）にある「共同攻勢対航空」の意味内容及び「敵基地攻撃」との違い
  - g 敵基地攻撃に必要な一般的オペレーションについてこれまでの防衛省の国会答弁
  - h 訓練移転先にアラスカを追加したと敵基地攻撃能力の保有の検討との関係性

**3 二千二十五年日本国際博覧会政府代表の設置に関する臨時措置法案（内閣提出第24号）**

・林外務大臣から趣旨の説明を聴取しました。